

# 都子ちゃんもアルペとヒューマンのコンサート

僧ヶ岳 1855m

合唱団 S A T O K O  
小学生のための学習資料  
(2010)

「あなたの心に」は都子さんの  
どんな気持ち、考え、思いを 歌っているのでしょう

赤い毛糸に だいだいの毛糸を 結びたい  
だいだいの毛糸に レモン色の毛糸を 結びたい  
レモン色の毛糸に 空色の毛糸も 結びたい

人にはそれぞれ特徴があります。違いがあります。

大きい人、小さい人 強い人 弱い人 積極的な人 消極的な人  
勉強のできる人 できない人 運動が得意な人 苦手な人 病気の人  
障害を持った人 外国人 日本人 金持ちの人 貧乏な人

人はみんな違っているけど、みんな同じ人間です。都子さんは、人みなそれぞれ違っていることを、いろいろな色の毛糸に例えました。

そして、いろいろな人の心と心を 結び合わせたい。思いやりの心を持って 相手を理解しあえるようにしたい と思いました。

青い空と 深い緑の森を 結びたい

さらに 私たちが住んでいるこの地球 自然にも 目を向けました。自然を壊すことなく、自然と人間が 調和して生きることが できるようにしたい と思いました。

結びたいんだ このまちに生きる ひとりひとりを

このまちには いろいろな人が いっしょに生活しています。いろいろな人の心と心を結びたい。みんなが 思いやりの心を持って 相手を理解して 生活できるようにしたいと思いました。

結びたいんだ わたしの思いを あなたの心に

わたしのこの思いを あなたの心に届けたい 結びたいんだ。

合唱団全員が、心一つにして、都子さんの気持ちになって  
都子さんの思いを 都子さんに代わって、聴いている人に  
せいっぱい 届けましょう

わたしたちは、都子さんのメモリアルコンサートをおこなってきました。  
オウムに殺された都子さんが、魚津の僧ヶ岳の山中から、遺体で発見されたからです。  
都子さんは19才のときに「赤い毛糸に・・・」という詩を書きました。  
それに川崎祥悦先生が曲をつけてくださり「あなたの心に」という合唱曲ができました。  
この合唱曲を歌うことによって「都子さんの思い」を伝えています。  
都子さんはどんなことを考えた人だったのでしょうか。どんな生き方をした人なのでしょう。

**今回参加する小学生の皆さんは、どんな気持ちで、どんな態度で歌ったらいいのでしょうか。**



**上の写真は「坂本都子」さんです。「都子」と書いて「さとこ」と読みます。**

下の写真は、弁護士の 坂本堤さんと、妻都子さん、子どもの龍彦ちゃんです。  
21年前に、オウム真理教の幹部に殺されました。都子さんは魚津市の僧ヶ岳に  
堤さんは 新潟県の名立市に 龍彦ちゃんは長野県の大町市に埋められました。



6年後に遺体が発見されました。  
都子さんの遺体が山からおろされる時、  
山のふもとの人たちは 手に手に線香  
やろうそくを持って 沿道に立ちなら  
び 両手を合わせて都子さんの遺体  
を見送りました。



写真のヴァイオリンは、坂本堤さんが生前使っていたものです。  
堤さんのお父さんはヴァイオリンが好きで、堤さんは4才から習っていました。

また、写真のフルートは、都子さんが使っていたものです。  
都子さんは、中学生になって、吹奏楽部に入りました。  
フルートの音色がとっても好きで、吹奏楽部では、フルートを担当しました。

3年生のとき、茨城国体がありました。パラリンピックで 体の不自由な人たちが  
協力して競技に参加している姿を見て、すごく感動しました。  
高校の時も、大学の時も 体の不自由な人や 困っている人たちを支えたいと  
ボランティア活動を積極的に行いました。

ボランティア活動で坂本堤さんと出会いました。  
結婚して龍彦ちゃんが生まれました。

坂本堤さんは、弁護士になって、困っている人たちの相談にのっていました。  
オウム真理教に入った子どもの家族から相談を受け、助けるために活動していました。  
堤さんは、オウム真理教の幹部に 家族全員殺されてしまいました。

僧ヶ岳の林道の脇に、慰霊柱と慰霊碑があります。

都子さんのご両親は、ここが他人の土地であることも知らず、慰霊柱をたてました。ご両親の 大山友之さん やいさん夫妻は、地主の 山本清作さんを訪ねて 謝りました。山本さんは 大山さんを、温かく迎え入れました。

やがて 弁護士も 無償で土地を提供してもらい 慰霊碑を建てました。上の3つの輪は3人をあらわしています。大きいのが堤さんと都子さん、小さいのが龍彦ちゃんです。

これは ひとつの石をほって 作られています。



大山さん夫妻



山本さん夫妻

山本清作さんは、お盆の時期などにあわせ、ふだん訪れることのできない大山夫妻や 弁護士も 無償で土地を提供してもらい 慰霊碑を建てました。ご両親の 大山さん やいさん夫妻は、地主の 山本清作さんを訪ねて 謝りました。山本さんは 大山さんを、温かく迎え入れました。



# 「あなたの心に」

作詞 坂本（旧姓大山）都子  
作曲 川崎祥悦

赤い毛糸に  
だいだいの毛糸を結びたい  
だいだいの毛糸に  
レモン色の毛糸を結びたい  
レモン色の毛糸に  
空色の毛糸も結びたい  
青い空と  
深い緑の森を結びたい  
結びたいんだ  
このまちに生きる  
ひとりひとりを  
結びたいんだ  
私の思いを  
あなたの心に

1999年8月18日 僧ヶ岳にかかった虹（慰霊碑まえで撮影）

第1回のメモリアルコンサートの前日、慰霊碑の前で 追悼の演奏が行われました。ふもとの村を出る時はすごい土砂降りでした。そして大きな雷鳴がとどろきました。都子さんのお母さんがおもわず「都子が呼んでいる!!」と叫びました。しかし林道に入る頃には晴れてきました。堤さんの友人の松本克巳さんがヴァイオリンを弾きはじめました。それは堤さんが使っていたヴァイオリンでした。大平記子さんが都子さんのフルートを吹きはじめました。ちょうどその時です。空に大きな大きな二重の虹が現れました。光の粒々が演奏に合わせて舞いながら 音楽を楽しんでいるかのようでした。慰霊碑には、都子さんの「赤い毛糸に・・・」の詩が刻まれていました。都子さんの詩と大きな二重の虹・・・この一致に みんな不思議なものを感じました。



1999年8月18日 僧ヶ岳林道の慰霊碑

ヴァイオリンは松本克巳（まつもとかつみ）さん  
フルートは大平記子（おおだいらのりこ）さん  
楽譜を持っているのは山本清作さんのお孫さん

「赤い毛糸に・・・の詩に 曲がついたら歌えるのに・・・」と実行委員の一人がつぶやきました。その言葉が作曲家の川崎祥悦先生の心に届きました。

川崎先生は「はじめ詩を読んだ時、赤やだいだいやいろんな色の毛糸がでてきて何だこれは?と思いました。しかし『結びたいんだあなたの心に』というフレーズがガツーン と心に響きました。この曲は 頼まれたから 作った曲ではありません。作らなければならない、作るのは私の天命だ、と思いました。都子さんが たびたび、かたわらに現れました。これでいいだろうか・・・ と何度も都子さんに語りかけながら作曲しました。」と語っておられます。

コンサートの前日、慰霊碑に楽譜を捧げました。

「都子さん あなたの詩に作曲させていただいた合唱曲です・・・」  
心の中で語りかけながら、深々と頭を下げられました。



松本克巳さんの演奏するなかで都子さんの慰霊碑に楽譜を捧げる川崎祥悦先生 2004. 10. 30



2004. 10. 31 慰霊碑前  
献花する川崎祥悦さん 演奏する松本克巳さん

第4回コンサート当日の朝  
コンサートに先立ち  
都子さんの慰霊碑の前で  
「あなたの心に」を歌いました。  
「都子さん こんな歌だよ  
今日のコンサートではじめて  
披露するよ。」  
心で語りかけながら 合唱しました。

下の写真左から  
大山友之さん  
浜田敏明さん  
(詩に曲をつけてほしいと言った人)  
松本克巳さん  
逸見登久恵(へんみとくえ)さん  
(都子さんの友人で都子さんの  
生き方を伝える活動をしてる。)  
小熊房江さん  
川崎祥悦先生  
今野強(いまのつよし)さん





# 第4回 愛とヒューマンのコンサート

合唱曲「あなたの心に」が初演されました。川崎先生の代表曲「山のいぶき」も合唱しました。  
合唱曲「あなたの心に」ができたことで、都子さんの思いや生き方を音楽で伝えることができるようになりました。



2004. 10. 31

天神山交流館合唱室  
指揮：川崎祥悦さん  
ピアノ：宮本則子さん



2004. 10. 31  
松本克巳さん  
森崎由紀子さん

# 都子さんの詩はどのようにして生まれたか



第6回メモリアルコンサートで、おとうさんの大山友之さんが「都子さんが どんな時にこの詩を書かれたのか」話されました。要点をまとめてみましょう。

都子さんは、立教大学の社会学部に入学しました。立教大学はキリスト教系の学校です。キリスト教は奉仕の精神を大切にします。「昼は汗して働き、夜は人生を語る」機会を作ろうと「大夕張ワークキャンプ」が企画されました。都子さんは1年生の時、このワークキャンプに応募し、勤労奉仕や地元の催しへの参加など、さびれゆく炭坑の町で夏を過ごしました。

学生たちはやがて卒業し、散りぢりになっていきます。いっしょに汗を流し語り合った仲間との交流をつづけるために、都子さんたちは読書会と会報の発行を計画しました。都子さんは、その名称を「結（ゆい）」にすることを提案しました。

都子さんのノートに「名前を『結』にしようかな・・・と考えた」という文章のあとにつづけて「赤い毛糸にだいだいの毛糸を結びたい・・・」と書かれています。

「結（ゆい）」とは、農村につたわる協力共同の仕組みです。読書会「結」の趣旨を伝えるために、虹色の毛糸に思いを託して書かれたのが「赤い毛糸に・・・」の詩でした。

人それぞれの思い、人それぞれの生き方を尊重しあうことで人間社会が成り立っていく。人と人が心を通わせ 手を結んでいくことなしには 社会は変わらない。そんな都子さんの生き方を象徴的にあらわす言葉として「赤い毛糸の・・・」の詩が慰霊碑に刻まれました。

**今年は 10回目の記念すべき大切なコンサートになります。**  
**今回のコンサートの特徴・目玉・・・小学生が出演すること！！**

**1 次の世代を担う若い人につなげていくために小学生といっしょに歌おう。**

小学生の皆さんに、都子さんの思いや生き方を伝えていこう。

**小学生といっしょに、会場の方に、都子さんの思いや生き方を 伝えていこう。**

**2 「親と子の童謡メドレー」を歌って、「親子の愛情」「家族の絆」の大切さを伝えよう。**

「親子の愛情」「家族の絆」の感じられる童謡を 川崎祥悦先生に編曲してもらう。

**「靴が鳴る」**・・・手をつなぎ、楽しく遊ぶ様子を歌っています。思いやりのある温かい家族、友人、社会の中で、みんなが楽しく 仲良く 幸せに育ってほしいですね。

**「里の秋」**・・・お父さんが戦地に行っています。静かな夜、星がいっぱい出ています。

お母さんと二人、栗の実を食べてながら、お父さんのやさしい笑顔を思い出しています。

戦争が終り、もうすぐお父さんが帰ってきます。無事に帰ってきてほしいと祈ります。

**「汽車ポッポ」**・・・力強く走る汽車。汽車に乗った少年の楽しい気持ち、うれしい気持ちが伝わってきます。3番歌詞に「明るい希望が待っている」ということばがあります。

未来に向かって明るく元気に、がんばっていききたいという気持ちを表現しましょう。

**「みかんの花咲く丘」**・・・小さい頃、お母さんといっしょに、みかんの花咲く丘へ登った。

青い海には、お船が浮かんでいた。黒い煙をはきながら・・・お母さんといっしょにあの島をながめたっけ・・・今日ひとりで来てみるとやさしい母さんが思われる・・・

ほんとうにやさしいお母さんだった・・・。

**魚津市だけでなく、他の県でも、小学生とともに「あなたの心に」を歌い、都子さんの思いや生き方を伝えています。**



2007. 4. 21 福島県相馬市ゆめはっとホール 120人による合唱

## 坂本弁護士一家の慰霊演奏を 続ける松本克巳さん



坂本堤さんが愛した曲は「タイスの瞑想曲」だった。今まで何度弾いたか数えきれない。  
一家が行方不明の時は救出を訴えて弾いた。

「3人を連れ去った犯人や手がかりを知る人の心に届け・・・」と。

3人の遺体が発見されてからは 慰霊のために弾き続けた。

大切な人を失ったときその人のために何ができるのか。その答えがコンサートだった。

「音楽を通じて彼の思いや人柄を伝えたい。親しかった音楽家としてできることは  
それだけだから・・・」



2009 09 06 新川文化ホール

合唱で都子さんの思い『人と人の心の結びつきの大切さ』を訴え  
最後に 鎮魂の鐘で3人のご冥福を祈る。